



Koike Family の小豆島紀行

平成10年7月末、家族で瀬戸内海の小豆島を旅行しました。もちろん家族全員初体験。

早朝の新幹線に乗り、岡山まで行きました。帰りに瀬戸大橋を渡りたいので、6枚綴りの東京・岡山間の新幹線自由席切符がもっとも経済的なのです。（子どもは、2人で1枚なので、ぴったり！格安チケットよりも特です！帰りも岡山始発で確実に1BOXに座れます。）
末っ子は、新幹線初体験。



子どもたちはフェリー初体験です。とても嬉しそう。



土庄港に着き、早速「24の瞳の群像」を見学。



平和の群像のアップは、[こちら](#)です。

レンタカーを借りて、さあ出発！最初は、孔雀園です。
[沢山の孔雀](#)が迎えてくれました。

売店を出たところで、羽を広げて歓迎してくれました。子どももビックリ！



[ここ](#)の水族館には、なつかしいウーパールーパーがいます。

そして、午前の最後は、お猿の楽園です。放し飼いにされているので、最初とても珍しかった。



お昼は、銚子溪谷の茶屋で、小豆島名物「流しそうめん」です。



茶屋から外は、[素晴らしい景色](#)です。



そして、真下には、[きれいな谷](#)も見ることができます。

次に行ったのは、[「四方指」](#)という景色のいいハズのところ。あいにく、ガスが掛かって良く見えない。



次は、日本三大渓谷美のひとつ[「寒霞渓」](#)です。

頂上には、なんと「野良猿」がいる。先程入場料を払った「お猿の楽園」は、いったい何だったのだろう？



そして、場所と時間によっては、下手に餌を与えると[こんな](#)状態になります。

ここで驚いたのは、[素晴らしく綺麗なトイレ](#)です。しかも無料。

そして、[「ビーナスの丘」](#)というところに行きました。

小高い丘を上っていくと、何やら[モニュメント](#)と礼拝堂のような建物があります。[奥](#)にも、何かありますが・・・。

見通しの悪い中、鐘の音が響きます。ここも、ほぼ貸し切りでした。



朝が早かったので、早々に宿泊先のペンションに入りました。隣に川が流れており、水がきれい。上流を探検とたら、[砂防ダム](#)があり、沢蟹もいました。



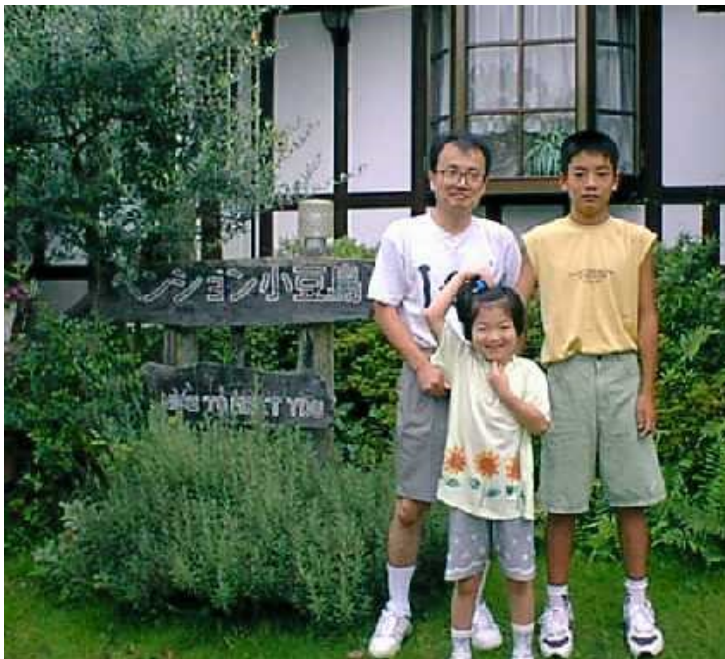
夕食の前に風呂に入り、サッパリして夕食を頂きました。とても美味しい食事でした。



ちょっと量が少なくて不満顔もありました。

2日目。朝の散歩でも沢蟹を捕まえました。

さあ、ペンションを出発！



最初の行ったのは、オリーブ公園です。ここは、無料です。とても景色が良く、ギリシャに来たようです。すいてました。



[蝉](#)が沢山いて、帽子で捕まります。後ろのオリーブ記念館の[虫](#)もギリシャ調です。



ちょっと歩くと、[とても綺麗な風車](#)があります。





[オリーブの森](#)の中には、[こんな昆虫](#)もいます。



次は、マルキン醤油記念館。





そして、「24の瞳映画村」と「峠の教室」撮影セットです。

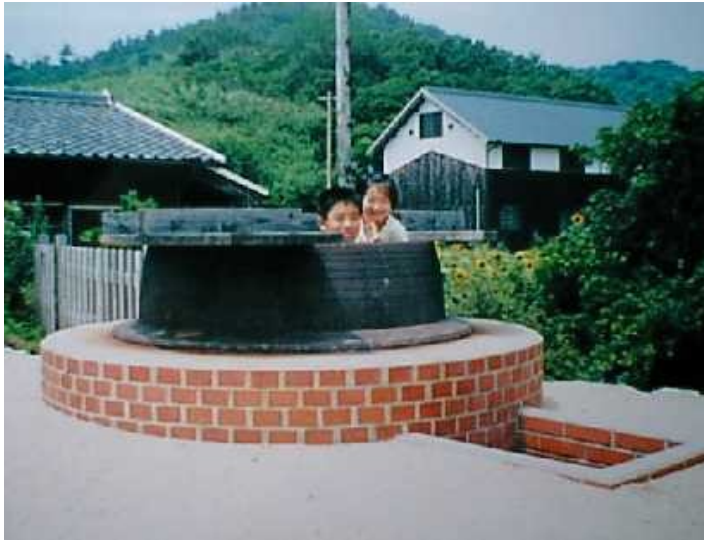


この看板の言葉がとても面白い。

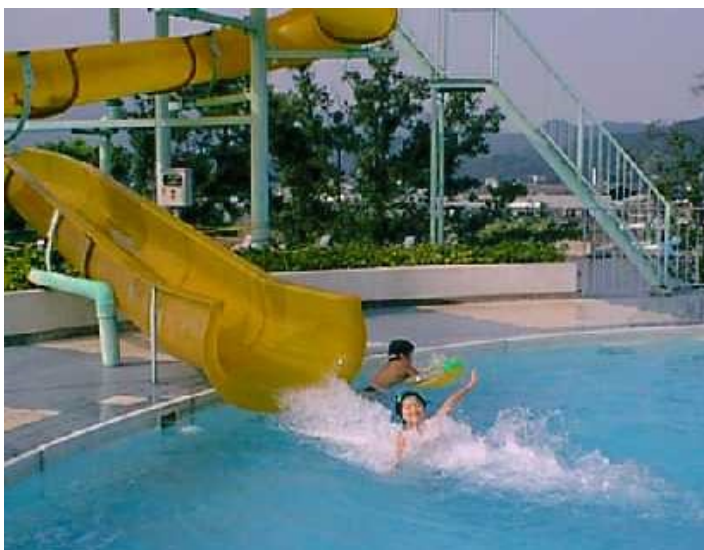








レンタカーを返して、ホテルに到着。子供たちは、早速プールで、大はしゃぎ。







温泉に浸かって、ご馳走をお腹いっぱい頂きました。お昼は粗食だったから、とても美味しかった。



翌朝の食事も、満足でした。



海水浴場は、ホテルの専用マイクロが無料送迎するプライベートビーチに行きました。







長男は、水上バイクを体験！



そして、ホテルのデッキから海釣りにも挑戦しました。早朝から頑張ったけど、成果はなし。本人と同じ「坊主」です。



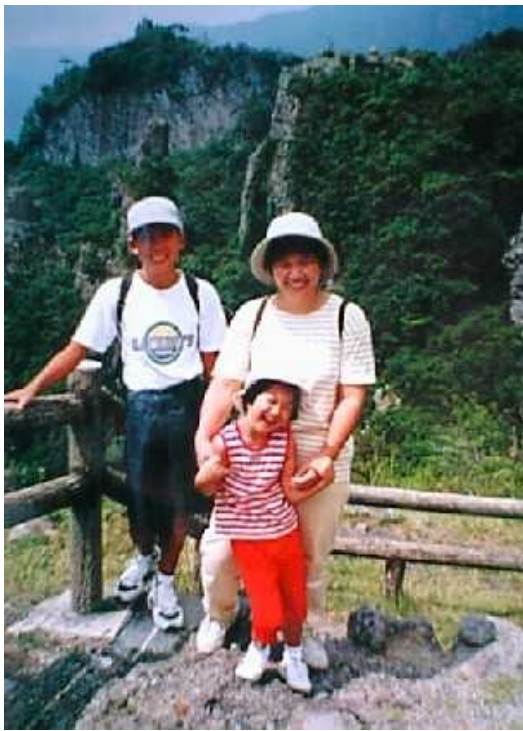
プライベートビーチのお兄ちゃんのお誘いにより、夜の海へモーターボートで「夜光虫」観察。見られて良かったけど、ちょっと高かった。

最終日は、海には入らず、またレンタカーを借りて「四方指」の景色に再挑戦。



初日より、良く見えたけど、四国は見えなかった。残念！

寒霞溪のロープウェイとハイキングにも挑戦しました。馬のフンと猿の声の中、気持ち良い汗かきました。





いよいよ我が家へ帰る時間です。 [瀬戸大橋](#)を渡るため、まず土庄港から高松行きフェリーに乗りました。



子供たちは、船内で暑中見舞いの絵ハガキ作成に余念がありません。私はビールを飲んでしばし昼寝です。



瀬戸大橋を渡るマリンライナーは、快速電車で、立っている人もいる混み具合でした。

旅行のキップ、パンフレットなどです。お疲れさまでした。

